

社協

ふるいち

No. 46
発行責任者
松本 晃幸

本年も よろしくお願いいたします



武田山山頂から撮影
令和6年元旦

古市学区社会福祉協議会

会長 松本 晃幸

あけましておめでとうございませう。

今年辰年は、変化の多い年と言われております。本年は正月早々能登半島地震が起き、多くの方々が亡くなられ、また、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

日本社会は、少子化並びに高齢社会をどう克服していくのか、大きな課題を抱えております。

古市学区社会福祉協議会では、広島市が提唱している「地域コミュニティ活性化ビジョン（広島型LMO）」に取り組んでいきます。町内会・自治会の加入者が減少する中で、地域の触れ合い、キズナづくりを進めていく必要があります。このため古市学区の皆さん一緒になって取り組んでいきましょう。

嚶鳴春秋

春の季節は子ども们的教育で親を悩ませる行事が集中します。

古くより子育ての教訓として「アメリカンインディアン」の教えが語り継がれています。一言一句、親として考えさせる内容で、現在でも通じる教えに驚かされます。

▼批判ばかり受けて育った子は、非難ばかりします。
▼殴られて大きくなった子は力に頼ることを覚えます。
▼褒められる中で育った子は、常に感謝することを知ります。▼寛容に出会った子は、忍耐を覚えます。
▼励ましを受けて育った子は、自信を持ちます。▼思いやりの中で育った子は、信頼心を持ちます。▼公明正大の中で育った子は、正義心を持ちます。▼仲間の愛の中で育った子は、愛情を感じ取ることができませうか。
さて、我が家はどうだろうか。
(F・T)

「地域貢献事業」・「公園再整備事業」 緑道公園のベンチ塗り事業

まちづくり委員会子ども会やPTA会長から「緑道公園内のベンチ等ペンキ塗りを子ども達が行うのは」との提案があり、各種団体が連携して11月3日に実施しました。

●連携した団体のコメント

安佐南区社会福祉協議会
子ども会等各種団体、八紘や区維持管理課との調整に苦慮しました。当日は、子ども達の笑顔が咲き、苦労が吹き飛びました。

古市学区子ども会連合会
文化の日に、古市学区社



会福祉協議会主催で、古市小学校そばに本社を置く八紘さんのご協力をいただき、中須公園・緑道公園のベンチのペンキ塗りを行いました。1年生から3年生までの子ども達、総勢36名が参加しました。

いつも遊んでいる公園のベンチに好きな色を塗ったり、型で絵を付けたりして、子ども達もとても楽しそうに、活き活きしていました。八紘さんにも優しく教えていただきながら、緑道公園のベンチをかわいく仕上げました。



八紘

この度の事業では、みんなで使う公園のベンチを、子ども達が塗装体験をしながら楽しく・キレイにすることができました。子どもたちにとってこの事業が、物を大切にすることを学ぶ機会となれば、弊社にとってもやりがいにつながります。

防災訓練の実施について

10月21日 安佐南区古市猫本商事㈱の駐車場で、自主防災連合会と社会福祉協議会が地域の団体の協力を得て、非常食や豚汁の炊き出し訓練を実施しました。

初めての経験で難儀しましたが、多くの参加者からおいしいとの声があり、好評でした。

また、安佐南区社会福祉協議会の「ボランティアによる被災現場の復旧や八木の被災パネル」を展示しました。八木の被災場所にボランティアで参加された方が、当時の被災状況を参加



者に話されていたのが印象に残りました。

今年、新年早々に「能登地震」が発生し、悲しい年明けとなりました。発生後だんだんと被害状況もわかり始め、家屋の倒壊、道路の陥没やがけ崩れなど甚大な被害があり、復旧活動に時間がかかりそうです。

いつ起こるか分からない災害に備えるため、日頃から避難場所、非常食の備蓄や非常用の持ち出し袋など、出来ることから対策する必要を感じました。被災地の1日も早い復旧、復興



を心から願っています。

久保山神社子どもみこし 古市の町に復活

コロナ禍で中止続きとなっていた久保山神社秋祭り子どもみこしが10月7日、4年ぶりに開催されました。

参加する子どももお手伝いしてくださる保護者も初めの人々がほとんどという状況でしたが、商店街、おやじの会、子ども会が協力し、色々な団体からアドバイスしていただきながら準備を進めていきました。

当日は法被を身にまとった子どもたちが久保山神社に集合し、参拝の儀式を終え、地域の人が見守る中、



「わっしょい、わっしょい」のかけ声と共に古市の町を巡行しました。商店街や住宅からはたくさんの方が温かい目で見守ってくださり、子どもたちはお菓子などのプレゼントに大喜びでした。

配布された豆絞りを工夫して頭や首に巻いたり、みこしをもんだり、太鼓を叩いたり、大うちわを威勢よくあおいだりと普段すること

古市地区のどんど

飲まれてたまるか大作戦

今年は、年始から災害や事故が発生し、不安な幕開けとなりました。このような年始だからこそ、古市が安全な一年になることを祈念して、1月7日にどんど焼きを開催しました。

昨年は、久しぶりのどんど焼き復活でしたが、PR不足や天候不順で、人の集まりが少なかったことが残念な点でした。今年は、町内会や子ども会で事前に告知をお願いしたところ、多くの方に参加いただきました

のできない経験をし、かけ声やお礼の声も自然に大きくなっていきました。

大人子ども総勢一〇〇人を超える賑やかさに、行事の復活への期待を実感できた一日となりました。お年寄りから子どもへ引き継がれていく伝統の行事として、来年度以降も是非継続していきたいものです。



た。

また、バケツリレー競争や消防団による放水体験や飲食の出し物など内容も充実して、子どもから年配まで楽しめる行事になったと思います。これも、事前準備から当日の撤収まで、多くの方のご協力のおかげです。今年も安全で楽しいまちを目指していきましょう！



中須子ども神輿

10月22日 子ども神輿が地域をまわる



小瀬どんど

1月7日に実施



緑道公園清掃

12月1日、中須町内会が緑道公園の清掃を行いました。



あなたの力をお貸しください

ボランティア募集

古市学区にお住まいの一人暮らしや病弱などの高齢者の方の、日頃の生活等での困りごとをボランティアが解決していきます。

例えば、大工、植木剪定、ちよつとした修理や蛍光灯の取替などにボランティアを派遣し、困りごとを解決します。

また、ボランティアバンクは、ボランティアも募集しています。例えば、ボラ

ンティアバンクでの電話受付、一人暮らしの方からの依頼に応えるための実働ボランティアなど。

ぜひ、あなたの知恵と力をお貸しください。ご協力いただける方は、電話または、直接古市学区集会所二階のボランティアセンターまでご連絡ください。

なお、ボランティアの登録やボランティアの依頼を電話で申し込まれる方は、

留守番電話に、必ず①住所
②名前 ③電話番号 ④内容をお伝えください。

▼曜日 月曜日と水曜日
▼時間 午後1時～午後4時



剪定前

▼電話 876・2390



剪定後

赤い羽根募金

ご協力ありがとうございます
ました。

●戸別・法人・医療会員

365, 222円

●11月5日区民祭り会場での街頭募金

24, 578円



表彰者一覧

広島市社会福祉協議会

会長表彰

地域福祉推進委員

山口 高正 様

おめでとうございます。

編集後記

元旦の能登半島地震では、消防署の被災など、行政機能が麻痺したり、道路の寸断などで「公助の限界」が起こった。改めて地域コミュニティ等における共助の重要性がクローズアップされた。共助とは、隣近所で協力して救出活動を行ったり、子どもや要配慮者の避難誘導を行う等のご近所での相互の助け合いのことだ。

わが古市学区は車が通れないような狭い路地も多く公助を待っているのは手遅れになることもあるかもしれない。ご近所で力を合わせられるよう、常日頃から地域防災力を上げておく必要がある。顔を知っているだけでも随分と心強いはず。是非関心をもっておこう。

しかし、自分や家族が助からなければ協力ができない。まずは、家の防災グッズの点検をしようと思う。

(T・N)

古市あんしんネットに登録しませんか？

古市あんしんネットは、一人暮らしなどの高齢者を近所に住む協力が「新聞がたまっていないか」、「電気がついていないか」などゆるやかな見守りする活動です。

あるマンションで、一人暮らしの高齢者が倒れていたのを隣の住民が気付き、大事に至らなかった事がある。

りました。これをキツカケにマンションの世話人の方が担当の民生委員の助言をいただき「古市あんしんネット」に登録を勧められた結果登録され、今はご本人も安心して過ごされています。

登録者には、年に一回地域包括支援センターの職員が訪問し、困りごとを聴い

て、介護保険の申請を行ったり、必要なサービスを調整します。
なんとなく不安だと思われる方は、お気軽に地域包括支援センターにお問い合わせください。

【問い合わせ】

安佐・安佐南地域包括

支援センター

電話 879・1876